

閣下二四五

十八八十二

昭和十八年 七月三十日

内閣書記官長

内閣書記官

内閣總理大臣

法制局長官

外務大臣

海軍大臣

商工大臣

大東亞大臣

内務大臣

司法大臣

遞信大臣

鈴木國務大臣

大藏大臣

文部大臣

鐵道大臣

大藏國務大臣

陸軍大臣

農林大臣

厚生大臣

後藤國務大臣

別紙内閣總理大臣及内務農林商工遞信鐵道
大東亞六大臣請議全屬類回收令改正、件

大日本帝國政府

ヲ審査スルニ右ハ相當ノ儀ト思考ス依テ請議ノ通
閣議決定セラレ可然ト認ム

勅令案
朕金屬類回收令改正ノ件ヲ裁
可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和十八年八月十一日

内閣總理大臣
内務大臣
商工大臣

逓信大臣
鐵道大臣
大東亞大臣

呈案附箋ノ通

去 司 司

大日本帝國政府

昭和十八年七月二十九日

企畫院上申第一八一號

昭和十八年七月二十九日

閣議請議

内閣總理大臣

東條英機



内務大臣

安藤紀三郎



昭和十八年七月二十九日

大日本帝國政府

農林大臣 山崎 達之



商工大臣 岸 信



逓信大臣 寺島



鐵道大臣 八田 嘉



大東亞大臣 青木 一



内閣總理大臣 東條 英 機

戰爭ノ現狀階ニ即應シ金屬類ノ供給ノ確保ヲ圖ル爲金屬類ノ回收ヲ強

力ニ實施スルノ要アリ依テ別紙勅令案ヲ提出ス
右圖議ヲ請フ

勅令第六百六十七號

金屬類回收令

第一條 國家總動員法（昭和十三年勅令第三百十七號ニ於テ依ル場合
ヲ含ム以下同ジ）第八條、第六條、二ノ規定ニ基ク回收物件ノ讓
渡其ノ他ノ處分、（註）使用、所持及移動並ニ同法第十六條、二ノ規定ニ基ク
令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 本令ハ戦力ノ増強ニ資スル爲鐵、銅若ハ鉛又ハ此等ノ金屬ヲ
主タル成分トスル合金ノ供給ノ確保ヲ圖ルコトヲ目的トス

第三條 本令ニ於テ回收物件トハ前條ノ金屬又ハ、（註）
成分トスル合金ヲ主タル材料トスル物資ニシテ左ノ各號ノ一ニ該
當スルモノヲ謂フ

一 命令ヲ以テ指定スル事業ニ供スル物資ニシテ命令ヲ以テ指定ス
ルモノ

二 命令ヲ以テ指定スル施設ニ備附ケタル物資ニシテ命令ヲ以テ指

力ニ實施スルノ要アリ依テ別紙勅令案ヲ提出ス
右圖讀ヲ請フ

勅令第六百六十七號

金屬類回收令

第一條 國家總動員法（昭和十三年勅令第三百十七號ニ於テ依ル場合
ヲ含ム以下同ジ）第八條、第十六條ノ規定ニ基ク回收物件ノ讓
渡其ノ他ノ處分、規定ニ基ク事業員ニ關スル命令ニ付テハ本
令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 本令ハ戰力ノ增強ニ資スル爲鐵、銅若ハ鉛又ハ此等ノ金屬ヲ
主タル成分トスル合金ノ供給ノ確保ヲ圖ルコトヲ目的トス

第三條 本令ニ於テ回收物件トハ前條ノ金屬又ハ、
成分、スル合金ヲ主タル材料トスル物資ニシテ左ノ各號ノ一ニ該
當スルモノヲ謂フ

- 一 命令ヲ以テ指定スル事業ニ供スル物資ニシテ命令ヲ以テ指定ス
ルモノ
- 二 命令ヲ以テ指定スル施設ニ備附ケタル物資ニシテ命令ヲ以テ指

力ニ實施スルノ要アリ依テ別紙勅令案ヲ提出ス
右圖議ヲ請フ

勅令第六百六十七號

金屬類回收令

第一條 國家總動員法（昭和十三年勅令第三百十七號ニ於テ依ル場合
ヲ含ム以下同ジ）第八條、第十六條、第二十條ノ規定ニ基ク回收物件ノ護
渡其ノ
令ノ定、
ニ屬スル設備タル回收物件ノ出資ニ關スル命令ニ付テハ本
令ノ定、
ハ月ニ付ル

第二條 本令ハ戰力ノ増強ニ資スル爲鐵、銅若ハ鉛又ハ此等ノ金屬ヲ
主タル成分トスル合金ノ供給ノ確保ヲ圖ルコトヲ目的トス

第三條 本令ニ於テ回收物件トハ前條ノ金屬又ハ、
、成分トスル合金ヲ主タル材料トスル物資ニシテ左ノ各號ノ一ニ該
當スルモノヲ謂フ

一 命令ヲ以テ指定スル事業ニ供スル物資ニシテ命令ヲ以テ指定ス
ルモノ

二 命令ヲ以テ指定スル施設ニ備附ケタル物資ニシテ命令ヲ以テ指

定スルモノ

三 前二號ニ掲グルモノノ外命令ヲ以テ定ムル物賣

第四條 商工大臣ハ回收物件ヲ所有シ又ハ權原ニ基キ占有スル者（第六條ノ規定ニ依リ商工大臣ノ指定スル者ヲ除ク）ニ對シ一般的ニ、

回收物件ノ讓渡其ノ他ノ處分、使用又ハ移動ニ關シ必要コトヲ得事業ニ屬スル設備タル回收物件ノ出資ニ付亦同ジ

第五條 商工大臣ハ回收物件ヲ讓受ケ若ハ賃借シ又ハ事業ニ屬スル設備タル回收物件ノ出資ヲ受ケントスル者（回收物件ノ規定ニ依リ商工大臣ノ指定スル者ヲ除ク）ニ對シ一般的ニ讓受、賃借又ハ出資ヲ受

クルコトニ關シ必要ナル制限ヲ爲スコトヲ得

第六條 商工大臣ハ回收物件ノ所有者ニ對シ期限ヲ指定シテ商工大臣ノ指定スル者（以下回收機關ト稱ス）ニ當該回收物件ノ讓渡ノ申込

チ爲スベキコトヲ命ズルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ讓渡ノ申込ヲ爲スベキコトヲ命ゼラレタル所有者

同項ノ期限迄ニ^{（前項ノ規定ニ依リ）}申込ヲ爲サザルトキハ其ノ期限到來ノ日ニ於テ讓渡ノ^{（前項ノ規定ニ依リ）}チ爲シタルモノト看做ス

第七條 回收機關ニ對シ回收物件ノ讓渡ノ申込アリタル場合ニ於テハ當該回收物件ノ撤去、引取及撤去ニ因リ生ジタル破損箇所ノ修理、

必要トスル^{（前項ノ規定ニ依リ）}、代替物件^{（前項ノ規定ニ依リ）}ノ附^{（前項ノ規定ニ依リ）}地方長官之ヲ^{（前項ノ規定ニ依リ）}回收物件ヲ所有シ又ハ權原ニ基キ占有スル者當該回收物件ノ撤去、撤

去ニ因リ、生ジタル破損箇所ノ修理又ハ代替物件ノ備附ヲ行フチ妨

グズ

地方長官前項ノ規定ニ依ル職權ヲ行フニ當リテハ其ノ指揮監督ノ下ニ其ノ指定スル回收機關其ノ他ノ者ヲシテ必要ナル作業ニ從事セシムルヲ例トス

地方長官第一項ノ規定ニ依リ回收物件ノ撤去又ハ引取ヲ行フ場合ニ於テハ當該回收物件ヲ所有シ又ハ權原ニ基キ占有スル者ハ之ヲ拒ム

定スルモノ

三 前二號ニ掲グルモノノ外命令ヲ以テ定ムル物資

第四條 商工大臣ハ回收物件ヲ所有シ又ハ權原ニ基キ占有スル者（第六條ノ規定ニ依リ商工大臣ノ指定スル者ヲ除ク）ニ對シ一般のニ、
回收物件ノ讓渡其ノ他ノ處分、使用又ナル制限^{爲ス}コトヲ得
事業ニ關スル設備タル回收物件ノ出資ニ付亦同ジ

第五條 商工大臣ハ回收物件ヲ讓受ケ若ハ賃借シ又ハ事業ニ關スル設備タル回收物件ノ出資ヲ受ケントスル者（第六條ノ規定ニ依リ商工大臣ノ指定スル者ヲ除ク）ニ對シ一般の讓受、賃借又ハ出資ヲ受クルコトニ關シ必要ナル制限ヲ爲スコトヲ得

第六條 商工大臣ハ回收物件ノ所有者ニ對シ期限ヲ指定シテ商工大臣ノ指定スル者（以下回收機關ト稱ス）ニ當該回收物件ノ讓渡ノ申込ヲ爲スベキコトヲ命ズルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ讓渡ノ申込ヲ爲スベキコトヲ命ゼラレタル所有者

同項ノ期限迄ニ讓渡ノ申込ヲ爲サザルトキハ其ノ期限到來ノ日ニ於テ讓渡ノ申込ヲ爲シタルモノト看做ス

回收機關ニ對シ回收物件ノ讓渡ノ申込アリタル場合ニ於テハ當該回收物件ノ撤去、引取及撤去ニ因リ生ジタル破損箇所ノ修理、

必要トシテ回收物件ノ用途又ハ備附ノ狀況ニ鑑ミ特ニ、

必要トシテ於テ代替物件ノ備附^{地方官ニ行フ}但シ回收物件ヲ所有シ又ハ權原ニ基キ占有スル

去ニ因リ、生ジタル破損箇所ノ修理又ハ代替物件ノ備附ヲ行フチ妨ゲズ

地方長官前項ノ規定ニ依ル職權ヲ行フニ當リテハ其ノ指揮監督ノ下ニ其ノ指定スル回收機關其ノ他ノ者ヲシテ必要ナル作業ニ從事セシムルヲ例トス

地方長官第一項ノ規定ニ依リ回收物件ノ撤去又ハ引取ヲ行フ場合ニ於テハ當該回收物件ヲ所有シ又ハ權原ニ基キ占有スル者ハ之ヲ拒ム

コトヲ得ズ
地方長官民收物件ノ撤去又ハ引取ヲ爲シタルトキハ譲渡契約ノ履行
ニ付テハ當該回收物件ハ譲渡ノ申込ヲ受ケタル回收機關ニ引渡アリ
タルモノト看做ス

第八條 第六條ノ規定ニ依リ回收物件ヲ回收機關ニ譲渡シ
シ商工大臣必要アリト認ムルトキハ其ノ定
ムル基準ニ依リ當事者間ノ協議ニ依リ之ヲ定メシムルコトヲ得
前項但書ノ規定ニ依リ協議ニ依リ譲渡價額定マリタルトキハ當該讓
渡價額ハ其ノ定メタルモノト看做ス

第九條 民收物件ヲ回收機關ニ譲渡スル場合ニ於テハ當該回收物件ノ
撤去費其ノ他引渡ニ要スル費用及修理費ハ商工大臣ノ指定スル回收
機關ノ負擔トスルモノトス回收物件ノ用途又ハ備附ノ狀況
ニ代替物件ノ備附ヲ必要トスル場合ニ於テ代替物件ノ備附ト其ノ備
附ニ要スル費用ノ額トノ合計額ガ當該回收物件ノ價額ヲ超ユル場合

ケル其ノ超過分ニ付亦同ジ

第七條第一項本文ノ規定ニ依ル代替物件ノ備附ノ場合ニ於テハ代
替物件ノ價額及其ノ備附ニ要スル費用ハ前項ノ超過分ヲ除クノ外
回收物件ノ譲渡ヲ受クベキ回收機關ノ負擔トスルモノトス比ノ場
合ニ於テ當該回收物件ノ回收機關ニ對シ譲渡價額ハ前條
額ヲ控除シタル額トス

回收物件ガ都道府縣又ハ市町村若ハ之ニ準ズルモノノ所有ニ關ス
ルモノナル場合ニ於テハ修理費並ニ代替物件ノ價額及其ノ備附ニ
要スル費用ハ前三項ノ規定ニ拘ラズ當該道府縣又ハ市町村
若ハ之ニ準ズルモノノ負擔トス

第一項及第二項ノ規定ニ依リ回收機關ノ負擔スベキ額ハ商工大臣
ノ定ムル基準ニ依リ地方長官之ヲ定ムルモノトス
但シ地方長官必要アリト認ムルトキハ第一項ノ規定ニ依リ回收機關
ノ負擔スベキ額ニシテ第七條第一項但書ノ規定ニ依リ回收物件ノ所

コトヲ得ズ
地方長官回收物件ノ撤去又ハ引取ヲ爲シタルトキハ譲渡契約ノ履行
ニ付テハ當該回收物件ハ譲渡ノ申込ヲ受ケタル回收機關ニ引渡アリ
タルモノト看做ス

第八條 第八條ノ規定ニ依リ回收物件ヲ回收機關ニ譲渡シ
シ商工大臣必要アリト認ムルトキハ
ムル基準ニ依リ當事者間ノ協議ニ依リ之ヲ定メシムルコトヲ得
前項但書ノ規定ニ依リ協議ニ依リ譲渡價額定マリタルトキハ當該讓
渡價額ハ
第九條 回收物件ヲ回收機關ニ譲渡スル場合ニ於テハ當該回收物件ノ
撤去費其ノ他引渡ニ要スル費用及修理費ハ商工大臣ノ指定スル同
機關ノ負擔トスルモノトス回收物件ノ用途又ハ備附ノ狀況
ニ代替物件ノ備附ヲ必要トスル場合ニ於テ代替物件ノ備
附ニ要スル費用ノ額トノ合計額ガ當該回收物件ノ價額ヲ超ユル場合

第九條 回收物件ヲ回收機關ニ譲渡スル場合ニ於テハ當該回收物件ノ
撤去費其ノ他引渡ニ要スル費用及修理費ハ商工大臣ノ指定スル同
機關ノ負擔トスルモノトス回收物件ノ用途又ハ備附ノ狀況
ニ代替物件ノ備附ヲ必要トスル場合ニ於テ代替物件ノ備
附ニ要スル費用ノ額トノ合計額ガ當該回收物件ノ價額ヲ超ユル場合

ニ於テ超過分ニ付亦同ジ

第七條 第一項本文ノ規定ニ依リ代替物件ノ備附ノ場合ニ於テハ代
替物件ノ價額及其ノ備附ニ要スル費用ハ前項ノ超過分ヲ除クノ外
額ヲ控除シタル額
同收物件ガ都道府縣又ハ市町村若ハ之ニ準ズルモノノ所有ニ關ス
ルモノナル場合ニ於テハ修理費並ニ代替物件ノ價額及其ノ備附ニ
要スル費用ハ前三項ノ規定ニ拘ラズ當該道府縣又ハ市町村
若ハ之ニ準ズルモノノ負擔トス
第一項及第二項ノ規定ニ依リ回收機關ノ負擔スベキ額ハ商工大臣
ノ定ムル基準ニ依リ地方長官之ヲ定ム

但シ地方長官必要アリト認ムルトキハ第一項ノ規定ニ依リ回收機關
ノ負擔スベキ額ニシテ第七條第一項但書ノ規定ニ依リ回收物件ノ所

コトヲ得ズ
地方長官回收物件ノ撤去又ハ引取ヲ爲シタルトキハ譲渡契約ノ履行
ニ付テハ當該回收物件ハ譲渡ノ申込ヲ受ケタル回收機關ニ引渡アリ
タルモノト看做ス

依リ回收物件ヲ回收機關ニ譲渡スル場合ニ於テハ譲渡價額ハ商工大臣之ヲ定ム但
シ商工大臣必要アリト認ムルトキハ

ムル基準ニ依リ當事者間ノ協議ニ依リ之ヲ定メシムルコトヲ得
前項但書ノ規定ニ依ル協議ニ依リ譲渡價額定マリタルトキハ當該讓
渡價額ハ商工大臣ノ定メタルモノト看做ス

回收物件ヲ回收機關ニ譲渡スル場合ニ於テハ當該回收物件ノ
撤去費其ノ他引渡ニ要スル費用及修理費ハ商工大臣ノ指定スル回收
機關ノ負擔トスルモノトス回收物件ノ用途又ハ備附ノ状況ニ鑑ミ特
ニ代替物件ノ備附ヲ必要トスル場合ニ於テ代替物件ノ價額ト其ノ備
附ニ要スル費用ノ額トノ合計額ヲ超ユル場合

ニ於テ超過分ニ付亦同ジ

第七條第一項本文ノ規定ニ依ル代替物件ノ備附ノ場合ニ於テハ代
替物件ノ價額及其ノ備附ニ要スル費用ハ前項ノ超過分ヲ除クノ外
回收物件ノ譲渡ヲ受ケベキ回收機關ノ負擔トスルモノトス此ノ場
合ニ於テ代替物件ノ價額ト其ノ備附ニ要スル費用ノ額トノ合計
額ヲ控除シタル額トス

回收物件ガ都道府縣又ハ市町村若ハ之ニ準ズルモノノ所有ニ關ス
ルモノナル場合ニ於テハ修理費並ニ代替物件ノ價額及其ノ備附ニ
要スル費用ハ前三項ノ規定ニ拘ラズ當該道府縣又ハ市町村
若ハ之ニ準ズルモノノ負擔トス

第一項及第二項ノ規定ニ依リ回收機關ノ負擔スベキ額ハ商工大臣
ノ定ムル基準ニ依リ地方長官之ヲ定ム

但シ地方長官必要アリト認ムルトキハ第一項ノ規定ニ依リ回收機關
ノ負擔スベキ額ニシテ第七條第一項但書ノ規定ニ依リ回收物件ノ所

收機關

コトヲ得ズ
地方長官回收物件ノ撤去又ハ引取ヲ爲シタルトキハ譲渡契約ノ履行
ニ付テハ當該回收物件ハ譲渡ノ申込ヲ受ケタル回收機關ニ引渡アリ
タルモノト看做ス

第八條 第八條ノ規定ニ依リ回收物件ヲ回收機關ニ譲渡シ
シ商工大臣必要アリト認ムルトキハ、
ムル基準ニ依リ當事者間ノ協議ニ依リ之ヲ定メシムルコトヲ得
前項但書ノ規定ニ依リ協議ニ依リ譲渡價額定マリタルトキハ當該讓
渡價額ハ、
第九條 第九條ノ規定ニ依リ回收物件ヲ回收機關ニ譲渡スル場合ニ於テハ當該回收物件ノ
撤去費其ノ他引渡ニ要スル費用及修理費ハ商工大臣ノ指定スル回收
機關ノ負擔トスルモノトス回收物件ノ用途又ハ備附ノ狀況
ニ代替物件ノ備附ヲ必要トスル場合ニ於テ代替物件ノ負擔トスルモノトス其ノ備
附ニ要スル費用ノ額トノ合計額ガ當該回收物件ノ價額ヲ超ユル場合

第九條 第九條ノ規定ニ依リ回收物件ヲ回收機關ニ譲渡スル場合ニ於テハ當該回收物件ノ
撤去費其ノ他引渡ニ要スル費用及修理費ハ商工大臣ノ指定スル回收
機關ノ負擔トスルモノトス回收物件ノ用途又ハ備附ノ狀況
ニ代替物件ノ備附ヲ必要トスル場合ニ於テ代替物件ノ負擔トスルモノトス其ノ備
附ニ要スル費用ノ額トノ合計額ガ當該回收物件ノ價額ヲ超ユル場合

ニ於テ超過分ニ付亦同ジ

第七條 第七條ノ規定ニ依リ代替物件ノ備附ノ場合ニ於テハ代
替物件ノ價額及其ノ備附ニ要スル費用ハ前項ノ超過分ヲ除クノ外
回收物件ノ譲渡ヲ受ケベキ回收機關ノ負擔トスルモノトス比
合ニ於テ當該回收物件ノ回收機關ニ對シ譲渡價額ハ前條
額ヲ控除シタル額トス

回收物件ガ都道府縣又ハ市町村若ハ之ニ準ズルモノノ所有ニ關ス
ルモノナル場合ニ於テハ修理費並ニ代替物件ノ價額及其ノ備附ニ
要スル費用ハ前項ノ規定ニ拘ラズ當該道府縣又ハ市町村
若ハ之ニ準ズルモノノ負擔トス

有者又ハ占有者ニ於テ撤去、修理又ハ代替物件ノ負擔トスルモノトス
於ケルモノニ付商工大臣ノ定ムル基準ニ依リ當該所有者又ハ占有者
ト當該回收機關トノ協議ニ依リ之ヲ定メシムルコトヲ
得

前項但書ノ規定ニ依ル協議ニ依リ回收機關ノ負擔スベキ額定マリタルトキハ當該額ハ地方長官ノ定メタルモノト看做ス

第十條 回收物件ニ關シ強制競賣手續、國稅徵收法ニ依ル強制徵收手續又ハ土地收用法、工場事業場使用收用令、土地工作物管理使用收用令若ハ總動員物資使用收用令ニ依ル使用若ハ收用ノ手續其ノ他此等ノ手續ニ準ズベキモノノ進行中ナルトキハ其ノ進行中ニ限リ當該回收物件ニ關シテハ第四條乃至第六條及第十三條ノ規定ハ之ヲ適用セズ

第十一條 第六條ノ規定ニ依リ爲シタル回收物件ノ讓渡ハ他ノ法令ニ拘ラズ其ノ效力ヲ有ス
第六條ノ規定ニ依リ讓渡スベキ回收物件ニ付存シタル擔保權ハ他ノ法令ニ拘ラズ當該回收物件ニ付其ノ讓渡ノ時ヨリ之ヲ行フコトヲ得ズ
前項ノ場合ニ於テハ當該擔保權者ハ當該回收物件ノ對價トシテ受

クベキ金錢又ハ有價證券及其ノ對價ニ關シ企業整備資金措置法第四條ノ規定ニ依リ取得シタル同法第十四條第一項ニ掲グル債權並ニ當該回收物件ニ付第九條第一項ノ超過分トシテ受クベキ金錢ニ對シ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第十二條 第六條ノ規定ニ依リ、三、等一、ノ回收物件ヲ回收機關ニ讓渡シタル場合ニ於テ當該回收物件ガ知レタル擔保權ノ目的タル場合ニ於テハ、回收機關ハ當該回收物件ノ對價トシテ支拂フベキ金錢又ハ有價證券及當該回收物件ニ付第九條第一項ノ超過分トシテ支拂フベキ金錢ヲ供託スベシ
前項ノ場合ニ於テハ當該擔保權者ハ同項ノ規定ニ依リ供託セラレタル金錢又ハ有價證券ニ對シ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第十三條 商工大臣ハ回收機關ニ對シ時期、方法、相手方、讓渡其ノ他ノ處分、使用、所持及移動、命ジ又ハ

前項但書ノ規定ニ依ル協議ニ依リ回收機關ノ負擔スベキ額定マリ
タルトキハ當該額ハ地方長官ノ定メタルモノト看做ス

第十條 回收物件ニ關シ強制競賣手續、國稅徵收法ニ依ル強制徵收
手續又ハ土地收用法、工場事業場使用收用令、土地工作物管理使
用收用令若ハ總動員物資使用收用令ニ依ル使用若ハ收用ノ手續其
ノ他此等ノ手續ニ準ズベキモノノ進行中ナルトキハ其ノ進行中ニ
限リ當該回收物件ニ關シテハ第四條乃至第六條及第十三條ノ規定
ハ之ヲ適用セズ

第十一條 第六條ノ規定ニ依リ爲シタル回收物件ノ讓渡ハ他ノ法令
ニ拘ラズ其ノ効力チ有ス
第六條ノ規定ニ依リ讓渡スベキ回收物件ニ付存シタル擔保權ハ他
ノ法令ニ拘ラズ當該回收物件ニ付其ノ讓渡ノ時ヨリ之ヲ行フコト
ヲ得ズ
前項ノ場合ニ於テハ當該擔保權者ハ當該回收物件ノ對價トシテ受

クベキ金銭又ハ有價證券及其ノ對價ニ關シ企業整備資金措置法第
四條ノ規定ニ依リ取得シタル同法第十四條第一項ニ掲グル債權並
ニ當該回收物件ニ付第九條第一項ノ超過分トシテ受クベキ金銭ニ
對シ其ノ權利チ行フコトヲ得

第十二條 第六條ノ規定ニ依リ、三、第一、回收物件チ回收機關
ニ讓渡シタル場合ニ於テ當該回收物件ガ知レタル擔保權ノ目的タ
ル場合ニ於テハ、回收機關ハ當該回收物件ノ對價トシテ支拂フ
ベキ金銭又ハ有價證券及當該回收物件ニ付第九條第一項ノ超過分
トシテ支拂フベキ金銭ヲ供託スベシ

前項ノ場合ニ於テハ當該擔保權者ハ同項ノ規定ニ依リ供託セラレ
タル金銭又ハ有價證券ニ對シ其ノ權利チ行フコトヲ得

第 其ノ他必要ナル事項ヲ指定シ回收物件ノ讓受、
讓渡其ノ他ノ處分、使用、所持及移動、
命ジ又ハ

、回收物件ノ譲渡、使用、所持及移動ノ關シ譲渡ヲ爲スコトヲ得
第十四條 國家總動員法第二十七條ノ規定ニ依リ補償スベキ損失ハ

第六條及前條ノ規定ニ基ク處分ニ因ル通常生ズベキ損失トス
前項ノ損失ノ補償ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十五條 商工大臣又ハ地方長官ハ回收物件ニ關シ國家總動員法第
三十一條ノ規定ニ依リ回收機關及回收物件ノ所有者其ノ他ノ關係
人ヨリ必要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏等ヲ當該回收物件ノ所
在ノ場所其ノ他必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ當該回收物
件、書類、帳簿等ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ
其ノ身分ヲ示ス證據ヲ携帯セシムベシ

第十六條 商工大臣ハ本令ニ規定スル職權ノ一部ヲ地方長官ニ委任
スルコトヲ得

第十七條 本令中商工大臣トアルハ朝鮮、臺灣又ハ南洋群島ニ在リ

テハ各朝鮮總督、臺灣總督又ハ南洋廳長官トシ、地方長官トアル
ハ朝鮮ニ在リテハ道知事、臺灣ニ在リテハ州知事又ハ廳長、南洋群
島ニ在リテハ南洋廳長官トス

第九條第三項中都道府縣又ハ市町村トアルハ朝鮮ニ在リテハ道又ハ
府邑面、臺灣ニ在リテハ州廳又ハ市街庄、南洋群島ニ在リテハ南洋
群島地方費トス

第十八條 本令ハ所有者若ハ權原ニ基ク占有者又ハ其ノ世帯員ノ日常
生活ノ用ニ供スル物費（家庭用物件）ニハ適用ナキモノトス
ハ昭和十八年九月一日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行前從前ノ罰則ヲ適用スベカリシ行爲及本令施行前回收機關ニ

對シ讓渡ノ申込アリタル回收物件ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

第十四條 回收物件ノ譲渡、使用、所持及移転ニ制限ヲ爲スコトヲ得

第六條及前條ノ規定ニ基ク處分ニ因ル通常生ズベキ損失トス
前項ノ損失ノ補償ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十五條 商工大臣又ハ地方長官ハ回收物件ニ關シ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ回收機關及回收物件ノ所有者其ノ他ノ關係人ヨリ必要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏等テ當該回收物件ノ所在ノ場所其ノ他必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ當該回收物件、書類、帳簿等ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏チシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證據ヲ携帯セシムベシ

第十六條 商工大臣ハ本令ニ規定スル職權ノ一部チ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第十七條 本令中商工大臣トアルハ朝鮮、臺灣又ハ南洋群島ニ在リ

テハ各朝鮮總督、臺灣總督又ハ南洋廳長官トシ、地方長官トアルハ朝鮮ニ在リテハ道知事、臺灣ニ在リテハ州知事又ハ廳長、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トス

第九條 第三項中郡道府縣又ハ市町村トアルハ朝鮮ニ在リテハ道又ハ府、臺灣ニ在リテハ州、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣又ハ南洋群島ニ在リテハ昭和十八年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前從前ノ罰則ヲ適用スベカリシ行爲及本令施行前回收機關ニ對シ讓渡ノ申込アリタル回收物件ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

理由

戦争ノ現段階ニ即應シ金屬類ノ供給ノ確保ヲ圖ル爲金屬類關係物件ノ
圓滑強カナル回收ヲ圖ラ依ル

理由

戦争ノ現段階ニ即應シ金屬類ノ供給ノ確保ヲ圖ル爲金屬類關係物件ノ
カナル回收ヲ圖ラントスルニ依ル

參照

●金屬類回收令

昭和十六年八月三十日
勅令第八百三十五號

改正 昭和十六年第一〇〇四號、一八年第三四二號
陸軍省回收令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム(總理、逓信、鐵道、拓務、商工大臣副署)

金屬類回收令

第一條 國家總動員法(昭和十三年勅令第三百十七號)於テ依ル場合ヲ含ム以下同シ)第八條ノ規定ニ基キ回收物件ノ譲渡其ノ他ノ處分、使用及移動ニ關スル命令ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 本令ニ於テ回收物件トハ鐵、銅又ハ黃銅、青銅其ノ他ノ銅合金ヲ主タル材料トスル物ニシテ附合ヲ以テ指定スルモノヲ謂フ

第三條 附合ヲ以テ指定スル施設ニ備附ケタル回收物件(以下指定施設ニ於ケル回收物件ト稱ス)ニシテ附合ヲ以テ指定スルモノヲ所有シ又ハ權限ニ基キ占有スル者ハ當該回收物件ニ付譲渡其ノ他ノ處分ヲ爲シ又ハ之ヲ移動スルコトヲ得ズ但シ商工大臣ノ指定スル者(以下回收機關ト稱ス)ニ譲渡スル場合及命令ヲ以テ定ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第四條 商工大臣ハ地域ヲ限リ其ノ地域内ノ指定施設ニ於ケル回收物件ニシテ前條ノ規定ニ依リ附合ヲ以テ指定スルモノ以外ノモノヲ所有シ又ハ權限ニ基キ占有スル者ニ對シ一般ノ當該回收物件ノ譲渡其ノ他ノ處分又ハ移動ヲ制限スルコトヲ得

第五條 地方長官ハ回收物件ノ所有者ニ對シ期限ヲ指定シテ回收機關ニ當該回收物件ノ譲渡ノ申込ヲ爲スベキコトヲ勸告スルコトヲ得

第六條 指定施設ニ於ケル回收物件ニシテ第三條ノ規定ニ依リ附合ヲ以テ指定スルモノヲ所有スル者ハ附合ヲ以テ指定スル期日迄ニ回收機關ニ對シ當該回收物件ノ譲渡ノ申込ヲ爲スベシ但シ命令ヲ以テ定ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第七條 商工大臣ハ地域ヲ限リ其ノ地域内ノ指定施設ニ於ケル回收物件ニシテ第三條ノ規定ニ依リ附合ヲ以テ指定スルモノ以外ノモノヲ所有スル者ニ對シ期限ヲ指定シテ回收機關ニ當該回收物件ノ譲渡ノ申込ヲ爲スベキコトヲ一般ノ命令ズルコトヲ得

第八條 指定施設ニ於ケル回收物件ノ所有者第五條乃至前條ノ規定ニ依リ譲渡ノ申込ヲ爲シタルトキハ當該所有者又ハ當該回收物件ノ權限ニ基キ占有スル者ハ回收機關ノ請求ニ應ジ遲滞ナク當該回收物件ノ引渡ヲ爲スベシ

前項ノ請求アリタル場合ニ於テ當該回收物件ヲ所有シ又ハ權限ニ基キ占有スル者ハ回收機關ニ對シ當該回收物件ノ撤去又ハ引取ヲ請求スルコトヲ得

回收機關前二項ノ規定ニ依リ當該回收物件ノ引渡ヲ受ケタルトキハ受領圖書ヲ作り引渡ヲ爲シタル所有者又ハ占有者ニ之ヲ交付スベシ

第九條 撤去費其ノ他回收物件ノ引渡ニ要スル費用及修理費ハ回收機關ノ負擔トス

前二項ノ規定ニ依リ回收機關ニ於テ負擔スベキ額ハ前條第二項ノ規定ニ依リ撤去又ハ引取アリタル場合ヲ除クノ外第十條ノ規定ニ依リ協議又ハ裁定ニ依リ定ムル額トス

第十條 回收機關第五條乃至第七條ノ規定ニ依リ指定施設ニ於ケル回收物件ノ所有者ヨリ譲渡ノ申込ヲ受ケタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ當該回收物件ノ譲渡價額及前條ノ規定ニ依リ回收機關ニ於テ負擔スベキ額(第八條第二項ノ規定ニ依リ撤去及引取ノ費用ノ額ヲ除ク)ニ付遲滞ナク當該所有者又ハ當該回收物件ノ權限ニ基キ占有スル者ト協議スベシ此ノ場合ニ於テ協議調ハザルトキ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ地方長官之ヲ裁定ス

前項ノ場合ニ於ケル回收物件ノ譲渡價額、前條第一項ノ費用並ニ同條第二項ノ代替物件ノ價額及其ノ備附ニ要スル費用ノ基準ハ商工大臣之ヲ定ム

第十一條 回收物件ニ關シ強制購買手續、國稅徵收法ニ依リ強制徵收手續

又ハ土地收用法、工場事業場使用收用令、土地工作物管理使用收用令若
ハ機動員物資使用收用令ニ依リ使用若ハ收用ノ手續其ノ他此等ノ手續ニ
準ズベキモノノ施行中ナルトキハ其ノ施行中ニ既リ當該回收物件ニ關シ
テハ第三條乃至第七條ノ規定ヘ之ヲ適用セズ
第十二條 第六條又ハ第七條ノ規定ニ依リ爲シタル回收物件ノ譲渡ハ他ノ
法令ニ拘ラズ其ノ效力ヲ有ス
第六條又ハ第七條ノ規定ニ依リ譲渡スベキ回收物件ニ付存シタル擔保權
ハ他ノ法令ニ拘ラズ當該回收物件ニ付其ノ譲渡ノ時ヨリ之ヲ行フコトヲ
得ズ
前項ノ場合ニ於テハ當該擔保權者ハ當該回收物件ノ對價トシテ受クベキ
金額及當該回收物件ニ付第九條第二項ノ超過分トシテ受クベキ金額ニ對
シ其ノ權利ヲ行フコトヲ得
第十三條 回收機關回收物件ヲ譲受ケタルトキハ商工大臣ノ指定スル回收
機關ニ對シ譲渡スル場合其ノ他法令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外當該回
收物件ニ付譲渡其ノ他ノ處分ヲ爲シ又ハ之ヲ使用スルコトヲ得ズ
第十四條 商工大臣ハ個人及法人其ノ他ノ團體ヲシテ回收機關ノ行フ回收
物件ノ譲受其ノ他之ニ關聯スル業務ニ協力セシムルコトヲ得
第十五條 商工大臣又ハ地方長官ハ回收物件ニ關シ國家總動員法第三十一
條ノ規定ニ依リ回收機關及回收物件ノ所有者其ノ他ノ關係人ヨリ必要ナ
ル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ當該回收物件ノ所在ノ場所其ノ他必要
ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ當該回收物件、書類、帳簿等ヲ検査セ
シムルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身
分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムルコトヲ得
第十六條 商工大臣ハ本令ニ規定スル職權ノ一部ヲ地方長官ニ委任スルコ
トヲ得
第十七條 本令中地方長官トアルハ鐵道又ハ砂鐵業ニ屬スル施設ニ關シテ
ハ鐵道監督局長、電氣事業ニ屬スル施設ニ關シテハ通信局長、地方鐵道
又ハ專用鐵道ニ屬スル施設ニ關シテハ鐵道局長トス
通信局長又ハ鐵道局長本令ニ規定スル事務ヲ行フ場合ニ於テハ商工大臣
ノ指揮監督ヲ受ク
第十八條 本令中商工大臣トスルハ朝鮮、臺灣、樺太又ハ南洋群島ニ在リ

ナハ各朝鮮總督、臺灣總督、樺太監長官又ハ南洋監長官トシ地方長官ト
アルハ朝鮮ニ在リテハ通知事(私設鐵道又ハ專用鐵道ニ屬スル施設ニ關
シテハ朝鮮總督府鐵道局長)、臺灣ニ在リテハ州知事又ハ監長(電氣事業
又ハ私設鐵道ニ屬スル施設ニ關シテハ臺灣總督府交通局長)、樺太ニ在
リテハ樺太監長官(地方鐵道又ハ專用鐵道ニ屬スル施設ニ關シテハ鐵道
局長)、南洋群島ニ在リテハ南洋監長官トス
本令中關合トアルハ朝鮮又ハ臺灣ニ在リテハ總督府令、樺太又ハ南洋群
島ニ在リテハ監令トス
附則
本令ハ昭和十六年九月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣、樺太又ハ南洋
群島ニ在リテハ昭和十六年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

○國家總動員法

昭和十三年四月一日
法律第五十五號

(國務各大)
臣副署

第八條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所
ニ依リ物資ノ生産、修理、配給、讓渡其ノ他ノ處分、使用、消費、所
持及移動ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十六條ノ二 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定
ムル所ニ依リ事業ニ屬スル設備又ハ權利ノ讓渡其ノ他ノ處分、出資、
使用又ハ移動ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十七條 政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ第八條、第十條、第十三條、
第十四條若ハ第十六條ノ二ノ規定ニ依ル處分、第九條ノ規定ニ依ル輸
出若ハ輸入ノ命令、第十一條ノ規定ニ依ル資金ノ融通、有價證券ノ應
募、引受若ハ買入、債務ノ引受若ハ債務ノ保證ノ命令、第十六條ノ規
定ニ依ル設備ノ新設、擴張若ハ改良ノ命令又ハ第十六條ノ三ノ規定ニ

參照

●昭和十三年勅令第三百十七號
(南洋群島ニ於ケル國家總動員
ニ關スル件)

昭和十三年五月四日
勅令第三百十七號

朕南洋群島ニ於ケル國家總動員ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

(總理、拓務
大臣副署)

南洋群島ニ於ケル國家總動員ニ關シテハ國家總動員法ニ依ル

附則

本令ハ昭和十三年五月五日ヨリ之ヲ施行ス

(國定規格B5一八×三七耗)

依ル專業ノ委託、讓渡、廢止若ハ休止若ハ法人ノ目的變更若ハ解散ノ命令ニ因リ生ジタル損失ヲ補償ス但シ第二項ノ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

總動員業務ヲ行フ者ハ第十條、第十三條第三項又ハ第十四條ノ規定ニ依リ使用、收用又ハ實施ヲ爲ス場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ニ因リ生ジタル損失ヲ補償スベシ

第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢查セシムルコトヲ得

(折上リ國定規格B5一八×三七耗)

大日本帝國政府

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル企業
整備資金措置法ヲ裁可シ茲ニ之
ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和十八年六月二十五日

内閣總理大臣 東條 英機
陸軍大臣 小泉 親彦
海軍大臣 嶋田繁太郎
司法大臣 岩村 通世
逓信大臣 寺島 健
大藏大臣 賀屋 興宣
農林大臣 山崎 謙吉
商工大臣 八田 嘉明
鐵道大臣 實業 三郎
内務大臣 山崎 謙吉

法律第九十五號
企業整備資金措置法

第四條 左ノ各號ノ場合ニ於ケル金銭債務

ノ決済ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ第五條ニ
規定スル決済方法ニシテ債權者又ハ債務
者ガ命令ノ定ムル所ニ依リ選擇シタルモ
ノニ依リ之ヲ爲スコトヲ要ス

- 一 事業ノ全部又ハ一部ノ譲渡アリタル
トキ
- 二 事業ニ屬スル設備又ハ權利ノ全部又
ハ一部ノ譲渡又ハ收用アリタルトキ
- 三 株式又ハ出資ノ持分ノ譲渡アリタル
トキ
- 四 其ノ他勅令ヲ以テ定ムルトキ

前項ノ規定ハ國民更生金庫ガ國民更生金
庫法第十七條ノ規定ニ依リ資金ノ融通ヲ
爲ス場合ニシテ準用スルニ於テハ
國民更生金庫ノ債務者、資金ノ融通ヲ受
クル者ヲ債權者ト看做ス

第十一條 政府特殊借入金、特殊預金、特殊
金貸付、債務者特殊借入金、臨時金融金
庫特殊借入金、政府特殊債權及第六條第一
項、第七條第一項及第九條第一項ニ於
テ準用スル場合ニ於テハ、規定ニ依リ額
額又ハ資金ノ利率、期限其ノ他ノ條件ハ
大藏大臣之ヲ定ム

(國定規格B5一〇三×三三〇七耗)

第十四條 政府特殊借入金、特殊預金、特殊金銭信託、債務者特殊借入金及
 戰時金融倉庫特殊借入金、債權ノ之ヲ讓渡シ又ハ擔保ニ供スルコトヲ
 得ズ但シ左ノ各號ノ場合ニ於テ命令ニ定ムル所ニ依リ政府ノ認可ヲ受ケ
 タルトキハ此ノ限ニ在ラズ

一 政府ノ指定スル金融機關ニ讓渡セントスルトキ
 二 政府ノ指定スル金融機關ニ擔保ニ供シテ貸付ヲ受ケントスルトキ
 三 其他勅令ヲ以テ定ムルトキ

略

總審庶第一二號

昭和十八年六月二十九日

國家總動員審議會總裁 東條英機

內閣總理大臣	東條英機	殿
內務大臣	安藤紀三郎	殿
商工大臣	岸信介	殿
逓信大臣	寺島健	殿
鐵道大臣	八田嘉明	殿
大東亞大臣	青木一男	殿

本會ハ諮問第九十四號金屬類回收令改正ニ關スル勅令案要綱ニ關シ
 慎重審議提案ノ趣旨適當ナルモノナリト議決致候
 右答申候也

內閣

諸問第九十四號

金屬類回收令改正ニ關スル勅令案要綱

第一 本令ハ戰力ノ増強ニ資スル爲金屬類ノ供給ノ確保ヲ圖ルコトヲ

目的トスルコト

第二 本要綱ニ於テ回收物件トハ鐵、銅、鉛又ハ此等ノモノヲ主タル成分トスル合金ヲ主タル材料トスル設備又ハ物資ニシテ左ノ各號ノ

一ニ該當スルモノヲ謂フコト

一 命令ヲ以テ指定スル事業ニ關スル設備ニシテ命令ヲ以テ指定スルモノ

二 命令ヲ以テ指定スル施設ニ備附ケタル物資ニシテ命令ヲ以テ指定スルモノ

三 前各號ニ掲グルモノノ外命令ヲ以テ定ムルモノ

第三 商工大臣ハ回收物件ヲ所有シ又ハ權原ニ基キ占有スル者ニ對シ當該回收物件ノ讓渡其ノ他ノ處分、出資、使用又ハ移動ヲ制限スルコトヲ得ルコト

第四 商工大臣ハ期限ヲ指定シ回收物件ノ所有者ニ對シ當該回收物件ヲ回收機關ニ讓渡ノ申込ヲ爲スベキコトヲ命ズルコトヲ得ルコト
前項ノ規定ニ依リ讓渡ノ申込ヲ爲スベキコトヲ命ゼラレタル者前項ノ期間内ニ讓渡ノ申込ヲ爲サザルトキハ讓渡ノ申込ヲ爲シタルモノト看做スコト

第五 回收機關ニ對シ回收物件ノ讓渡ノ申込アリタル場合ニ於テ當該回收物件ノ撤去、引取、撤去ニ因リ生ジタル破損箇所ノ修理及代替

物件ノ備附ハ地方長官原則トシテ回收機關ヲ指揮監督シテ之ヲ行フモノトスルコト

地方長官必要アリト認ムルトキハ回收物件ヲ所有シ又ハ權原ニ基キ占有スル者ヲシテ前項ノ作業ヲ行ハシムルコトヲ得ルコト

第一項ノ規定ニ依リ地方長官回收物件ノ撤去又ハ引取ヲ行フ場合ニ於テハ當該回收物件ヲ所有シ又ハ權原ニ基キ占有スル者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ザルコト

第一項ノ規定ニ依リ回收物件ノ撤去又ハ引取アリタルトキハ當該回收物件ハ回收機關ニ引渡アリタルモノト看做スコト

第六 回收物件ノ讓渡價額ハ商工大臣之ヲ定ムルコト但シ商工大臣必

要アリト認ムルトキハ同收物件ノ譲渡價額ニ付商工大臣ノ定メタル
基準ニ依ル當事者間ノ協議ニ依ラシムルコトヲ得ルコト

第七 撤去費其ノ他同收物件ノ引渡ニ要スル費用及修理費ハ同收機關
ノ負擔トスルコト

同收物件ノ用途又ハ備附ノ狀況ニ鑑ミ代替物件ノ備附ヲ必要トスル場
合ニ於テ代替物件ノ價額ト其ノ備附ニ要スル費用トノ合計額ガ當該
同收物件ノ價額ヲ超ユルトキ其ノ超過分ニ付亦前項ニ同ジキコト

第五第二項ノ場合ニ於テ前二項ノ規定ニ依リ同收機關ノ負擔スベキ
額ハ商工大臣ノ定メタル基準ニ依リ地方長官之ヲ定ムルモノトスル
コト但シ地方長官必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ定メタル基準

ニ依ル當事者間ノ協議ニ依ラシムルコトヲ得ルコト

第八 同收物件ニ關シ強制競賣手續、國稅徵收法ニ依ル強制徵收手續
又ハ土地收用法、工場事業場使用收用令、土地工作物管理使用收用
令若ハ總動員物資使用收用令ニ依ル使用若ハ收用ノ手續其ノ他此等
ノ手續ニ準ズベキモノノ進行中ナルトキハ其ノ進行中ニ限り當該同
收物件ニ關シテハ第四ノ規定ヲ適用セザルコト

第九 第四ノ規定ニ依リ爲シタル同收物件ノ譲渡ハ他ノ法令ニ拘ラズ
其ノ效力ヲ有スルコト

第四ノ規定ニ依リ譲渡スベキ同收物件ニ付存シタル擔保權ハ他ノ法
令ニ拘ラズ當該同收物件ニ付其ノ譲渡ノ時ヨリ之ヲ行フコトヲ得ザ

ルコト

前項ノ場合ニ於テハ當該擔保權者ハ當該回收物件ノ對價トシテ受クベキ金銭及當該回收物件ニ付第七第二項ノ超過分トシテ受クベキ金銭ニ對シ其ノ權利ヲ行フコトヲ得ルコト

第十 回收物件ガ知レタル擔保權ノ目的タル場合ニ於テハ回收機關ハ當該回收物件ノ對價及第七第二項ノ規定ニ依リ支拂フベキ金銭ヲ供託スベキモノトスルコト

第十一 回收機關ハ商工大臣ノ指定スル回收機關ニ對シ讓渡スル場合其ノ他命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外其ノ感受ケタル回收物件ニ付讓渡其ノ他ノ處分ヲ爲シ又ハ之ヲ使用スルコトヲ得ザルコト

第十二 補償スベキ損失ハ第四ノ規定ニ依ル命令ニ因リ通常生ズベキ損失トスルコト

前項ノ損失ノ補償ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ムルコト
第十三 商工大臣ハ回收機關ニ對シ回收物件ノ讓渡讓受等ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得ルコト

第十四 商工大臣又ハ地方長官ハ回收機關、回收物件ノ所有者其ノ他ノ關係者ヨリ回收物件ニ關シ必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況其ノ他ヲ檢査セシムルコトヲ得ルモノトスルコト

第十五 商工大臣ハ本要綱ニ規定スル職權ノ一部ヲ地方長官ニ委任ス

ルコトヲ得ルコト

第十六 本制度ハ前各號ニ準ジ各外地ニモ之ヲ實施スルコト

昭和十八年六月二十五日

内閣總理大臣	東條 英機
内務大臣	安部 貞二
商工大臣	岸 信介
逓信大臣	寺島 健
鐵道大臣	八田 嘉明
大東亞大臣	青木 一男

國家總動員會議總裁 東條 英機 殿

第五號附第九十四號金屬類同收令改正ニ關スル勅令案ニ對スル貴
會ノ意見ヲ請フ

附則第九十四號

金屬類回收令改正ニ關スル勅令案要綱

第一 本令ハ戰力ノ増強ニ資スル爲金屬類ノ供給ノ確保ヲ圖ルコトヲ
目的トスルコト

第二 本要綱ニ於テ回收物件トハ鐵、銅、鉛又ハ此等ノモノヲ主タル
成分トスル合金ヲ主タル材料トスル設備又ハ物資ニシテ左ノ各號ノ

- 一 該管スルモノヲ謂フコト
- 一 命令ヲ以テ指定スル事業ニ關スル設備ニシテ命令ヲ以テ指定ス
ルモノ
- 二 命令ヲ以テ指定スル施設ニ備附セタル物資ニシテ命令ヲ以テ指
定スルモノ

三 前各號ニ掲グルモノノ外命令ヲ以テ定ムルモノ

第三 商工大臣ハ回收物件ヲ所有シ又ハ權原ニ基キ占有スル者ニ對シ
當該回收物件ノ讓渡其ノ他ノ處分、出資、使用又ハ移動ヲ制限スル
コトヲ得ルコト

第四 商工大臣ハ期限ヲ指定シ回收物件ノ所有者ニ對シ當該回收物件
ヲ回收機關ニ讓渡ノ申込ヲ爲スベキコトヲ命ズルコトヲ得ルコト
前項ノ規定ニ依リ讓渡ノ申込ヲ爲スベキコトヲ命ゼラレタル者前項
ノ期間内ニ讓渡ノ申込ヲ爲サザルトキハ讓渡ノ申込ヲ爲シタルモノ
ト看做スコト

第五 回收機關ニ對シ回收物件ノ讓渡ノ申込アリタル場合ニ於テ當該
回收物件ノ撤去、引取、撤去ニ因リ生ジタル破損箇所ノ修理及代替

物件ノ備附ハ地方長官原則トシテ回收機關ヲ指揮監督シテ之ヲ行フ
モノトスルコト

地方長官必要アリト認ムルトキハ回收物件ヲ所有シ又ハ權原ニ基キ
占有スル者ヲシテ前項ノ作業ヲ行ハシムルコトヲ得ルコト

第一項ノ規定ニ依リ地方長官回收物件ノ撤去又ハ引取ヲ行フ場合ニ
於テハ當該回收物件ヲ所有シ又ハ權原ニ基キ占有スル者ハ之ヲ拒ム
コトヲ得ザルコト

第一項ノ規定ニ依リ回收物件ノ撤去又ハ引取アリタルトキハ當該回
收物件ハ回收機關ニ引渡アリタルモノト看做スコト

第六 回收物件ノ讓渡價額ハ商工大臣之ヲ定ムルコト但シ商工大臣必

要アリト認ムルトキハ同收物件ノ譲渡償額ニ付商工大臣ノ定メタル
基準ニ依ル當事者間ノ協議ニ依ラシムルコトヲ得ルニト

第七 撤去費其ノ他同收物件ノ引渡ニ要スル費用及修理費ハ同收機關
ノ負擔トスルコト

同收物件ノ用途及備附ノ狀況ニ鑑ミ代替物件ノ備附ヲ必要トスル場
合ニ於テ代替物件ノ償額ト其ノ備附ニ要スル費用トノ合計額ガ當該
同收物件ノ償額ヲ超ユルトキ其ノ超過分ニ付亦前項ニ同ジキニト

第五第二項ノ場合ニ於テ前二項ノ規定ニ依リ同收機關ノ負擔スベキ
額ハ商工大臣ノ定メタル基準ニ依リ地方長官之ヲ定ムルモノトスル
コト但シ地方長官必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ定メタル基準

ニ依ル當事者間ノ協議ニ依ラシムルコトヲ得ルコト

第八 同收物件ニ關シ強制競賣手續、國稅徵收法ニ依ル強制徵收手續
又ハ土地收用法、工場事業場使用收用令、土地工作物管理使用收用
令若ハ總動員物資使用收用令ニ依ル使用若ハ收用ノ手續其ノ他此等
ノ手續ニ準ズベキモノノ進行中ナルトキハ其ノ進行中ニ限り當該同
收物件ニ關シテハ第四ノ規定ヲ適用セザルコト

第九 第四ノ規定ニ依リ爲シタル同收物件ノ譲渡ハ他ノ法令ニ拘ラズ
其ノ效力ヲ有スルコト

第四ノ規定ニ依リ譲渡スベキ同收物件ニ付存シタル擔保權ハ他ノ法
令ニ拘ラズ當該同收物件ニ付其ノ譲渡ノ時ヨリ之ヲ行フコトヲ得ず

ルコト

前項ノ場合ニ於テハ當該擔保權者ハ當該回收物件ノ對價トシテ受クベキ金錢及當該回收物件ニ付第七第二項ノ超過分トシテ受クベキ金錢ニ對シ其ノ權利ヲ行フコトヲ得ルコト

第十 回收物件ガ知レタル擔保權ノ目的タル場合ニ於テハ回收機關ハ當該回收物件ノ對價及第七第二項ノ規定ニ依リ支拂フベキ金錢ヲ供託スベキモノトスルコト

第十一 回收機關ハ商工大臣ノ指定スル回收機關ニ對シ讓渡スル場合其ノ他命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外其ノ應受ケタル回收物件ニ付讓渡其ノ他ノ處分ヲ爲シ又ハ之ヲ使用スルコトヲ得ザルコト

第十二 補償スベキ損失ハ第四ノ規定ニ依ル命令ニ因リ通常生ズベキ損失トスルコト

前項ノ損失ノ補償ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ムルコト
第十三 商工大臣ハ回收機關ニ對シ回收物件ノ讓渡讓受等ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得ルコト

第十四 商工大臣又ハ地方長官ハ回收機關、回收物件ノ所有者其ノ他ノ關係者ヨリ回收物件ニ關シ必要ナル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況其ノ他ヲ檢査セシムルコトヲ得ルモノトスルコト

第十五 商工大臣ハ本要綱ニ規定スル職權ノ一部ヲ地方長官ニ委任ス

ルコトヲ得ルコト

第十六 本制度ハ前各號ニ準ジ各外地ニモ之ヲ實施スルコト

閣中ニ於テ

昭和十八年八月十二日公布

昭和十八年八月九日

内閣書記官長

之

内閣書記官

内閣總理大臣

法制局長官

回收物件及施設指定規則廢止ノ件

起案上申ス依テ別紙ノ通閣令公布ノコトニ決定相成可然ト認ム

閣 令 案

別紙ノ通